

令和6年度 第1回 札幌方面豊平警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和6年6月26日(水) 午後4時00分から午後5時15分までの間

2 開催場所

札幌方面豊平警察署 3階道場

3 出席者

(1) 協議会委員 10名(定員11名)

会長 井上 朋也

副会長 埜本 麻名

委員 早瀬 京太、水上 悟、今藤 亜矢子、有田 京史、
神山 明弘、山本 典子、佐藤 未帆、北川 洋一

(2) 豊平警察署 6名

署長 中野 広志

副署長 檜原 亮平

刑事・生活安全官 近藤 雅裕

地域官 荒川 淳

交通官 柴田 修至

警務官 安藤 伸一(事務局)

4 開 会

5 会長挨拶

6 署長挨拶

7 議 事

(1) 犯罪情勢について

(2) 交通事故等情勢について

(3) 議事に関する委員からの要望・意見

(委員からの要望・意見)

○ 小学校周辺の横断歩道の白線が、摩耗ですり減っている件について前回補修の要望を述べたがその後進展はあったか。

(警察回答)

○ 要望については本部交通規制課を通じ、補修要求をしているが予算が限られているので、優先順位をつけ進めている。

8 諮問事項

「交通死亡事故抑止に向けた住民との協働」

(委員からの答申)

○ 本年4月以降に豊平警察署としての飲酒運転検挙は何件あるか。

(警察回答)

○ 4月以降14件検挙している。

当管内は飲酒運転が多いと認識しており、取締りを強化している。

(委員からの答申)

- 登下校中の事故を予防するため、先程も話題となった学校周辺の横断歩道白線の塗り直しを早期にお願いしたい。

(警察回答)

- 選定した補修箇所について、予算措置が決まったところから進めている。
今後未把握の部分を調査確認し、横断歩道の白線補修を進めるよう要求して行く。

(委員からの答申)

- 本年5月豊平区で発生した死亡交通事故に関して、住民は大きなショックを受けており今後地域でも対策を考えて行く。

スクールゾーンの拡張による通学路の安全確保や、横断歩道の消えている場所の再塗装による明確化など、警察と協働してできることはあると思う。

子ども達の登下校時における安全確保は、学校任せにはできない。

今回の事故を受けて、青信号は安全ではなく自動車が信号を無視して通過することもあり得ることを教えなければならない。

子ども達にとって横断歩道は危険で、新小学1年生の横断は特に危ないと考える。

横断歩道の白線の明確化は4月初めには完了して欲しい。

(警察回答)

- 現在進めている横断歩道の白線の塗装については、令和5年・令和6年の予算での対応となる。

雪解けを考慮して道路の補修と並行して行わなければならない、毎年4月に終えるのは難しいが、できる限りスクールゾーンの横断歩道を優先するよう要求している。

(委員からの答申)

- 小学校の入学式は例年日程が決まっている。

スクールゾーンの見守りボランティアに、目立つ資器材を渡してはどうか。

予算付けが必要になるが、目立つ資器材で見守りボランティアの効果を高めてはどうか。

自転車のヘルメット着用率も低いように見受けられるが、警察の対策はあるか。

(警察回答)

- 自転車のヘルメット普及に関しては、トラック協会からの協力を受け、管内の小学1・2年生のヘルメット着用のモニターを募り、モニター後そのヘルメットを寄贈している。

今後も資器材やヘルメットの普及による、交通安全の浸透に取り組む。

9 報告事項

なし

10 次回の諮問事項等

(1) 開催予定

令和6年9月ころを予定

(2) 諮問事項の事前周知

次回諮問事項は、今回の答申の内容を反映させ事前周知する。

11 閉 会